

アンケートの結果について

2 月に行いました保護者アンケートでは、たくさんの方にご回答していただきとともに、貴重なご意見をいただきありがとうございました。子どもたち及び教職員も同様にアンケートを実施しましたので、重要度と実現度の 2 つの軸をもとに、本校の課題となる点や魅力といえる点を中心にご報告いたします。

1 保護者アンケート 分析結果

重要度・実現度 最高 7.0

ニーズ度が 25 以上または 25 に
近い項目が課題となる点です

質問文	重要度	実現度	ニーズ度	教職員評価 ニーズ度
授業の内容を理解すること	6.9	5.0	21.0	25.5
進んで学習に取組むこと	6.6	4.4	23.5	28.2
宿題をきちんとすること	6.7	5.5	16.4	22.5
進んで読書をすること	6.3	3.5	28.1	29.4
授業中、先生の話や友達の意見をしっかり聞くこと	6.9	4.8	21.7	24.4
クラスのみんなと仲よくすること	6.7	5.4	17.4	19.8
誰に対しても進んで挨拶ができること	6.8	4.3	25.4	34.0
きまりや約束を守ること	6.8	4.9	21.3	26.5
進んで体を動かしたり運動したりすること	6.3	5.0	18.9	21.2
早ね・早起きをすること	6.6	4.6	22.4	
朝ご飯を食べること	6.8	6.2	12.4	
安全に気をつけて遊ぶこと	6.8	5.3	18.2	22.8
学校の様子が「おたより」や「ホームページ」などで分かること	6.0	5.0	18.0	19.7

アンケート結果から

本校の課題

重要度・実現度が 7.0 に近いほど重
要であり実現できているといえます

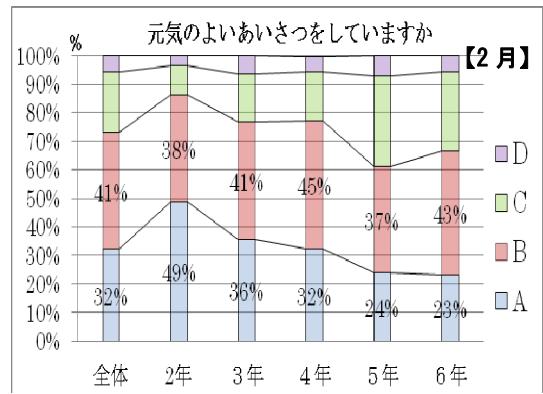
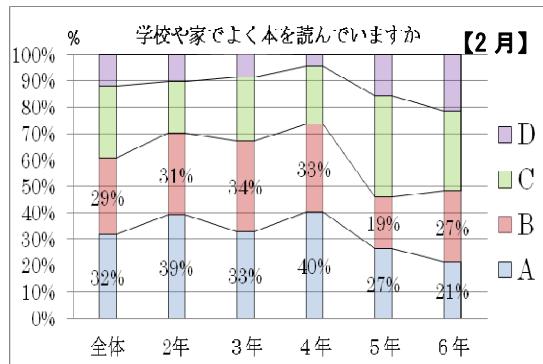
1. 『進んで読書をすること』

前回のアンケートで AB の割合を 10% 高めること を目標にして取組を進めると言っていましたが、結果的には 4% 程度下がるという結果になりました。図書室便りでもお知らせしていますように、学校では醍醐中央図書館・図書ボランティアの方と連携した読み聞かせやおすすめの本の紹介、ビブリオバトル、読書パズル、10 冊アタック、しおりプレゼントなどいろいろな取組を行ってきました。子どもたちの本の貸出し冊数は前年度より随分増えています。また、100 冊読書を達成した子どももたくさんいます。アンケートの数字には表れませんでしたが、本に親しむ雰囲気は高まってきています。今後も取組を継続し子どもたちができるだけたくさん本と出合える機会や場を作っていくたいと考えています。また、懇談会などで保護者の方の意見を聞いたり連携した取組について考えたりしていきたいと思います。

2. 『誰に対しても進んで挨拶ができること』

教職員・保護者アンケートでいずれもニーズ度が高くなっています。児童アンケートの結果を見てみると AB 評価の割合は学年が上がるにつれて下がってくる傾向があります。朝の登校時の様子から気付くことは以前はしっかりと挨拶ができていた子どもが次第に挨拶をしなくなってくることがあります。高学年やリーダーがしっかりと挨拶をしてくれる班の子どもたちは全体的に挨拶ができているようです。そういう意味では挨拶をしようという雰囲気作りはとても大切なことかもしれません。ご家庭においてもぜひそういう雰囲気作りをしてみてはどうでしょうか。「おはよう」「いってらっしゃい」「行ってきます」が自然に声に出せる雰囲気作りです。まずは大人から、そして、高学年から始めることが大切だと思います。

児童アンケートより

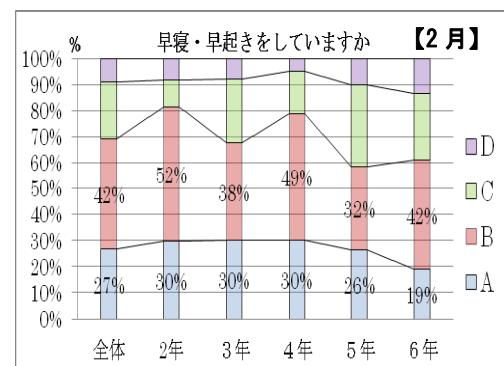


教職員評価	重要度	実現度	ニーズ度
誰に対しても進んで挨拶ができること	6.9	3.1	34

ニーズ度が 25 以上または 25 に
近い項目は課題となる点です

3.『早寝・早起きをすること』

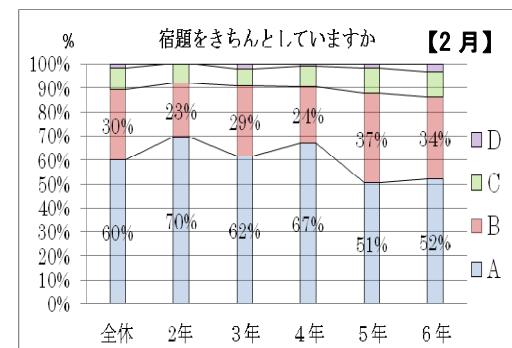
早寝・早起きに関しては児童のAB評価が約70%，保護者の実現度が4.6でした。2年生でも20%の子どもたちができていないとこたえています。生活アンケートの結果を見てみると、11時以降に寝ている児童が10%程度います。夜遅くまでゲームをしたりテレビを見たりしているということも聞きます。早寝・早起きは子どもが元気に生活するため、心と体の成長(成長ホルモンの分泌)のためにとても大切な生活習慣であるといわれています。また、生活リズムがくすれやすくなり集中力もうすれ学習にも大きく影響してくると考えられます。今一度毎日の生活リズムを見つめなおしてみてはどうでしょうか。



本校のよい点 向上した点

『宿題をきちんとすること』『クラスのみんなと仲よくすること』

保護者アンケートではこの2項目が本校のよさという結果になりました。児童アンケートをみると宿題に関しては前回より全体で5%アップし90%の子どもがAB評価をしていました。ただ、このことが勉強を進んでするという姿勢までには至っていません。宿題に関しては、**15分×学年**を目安に今後も内容等工夫していきたいと思います。ご家庭でもがんばりを中心に励ましていただくことや丁寧に書くよう声かけをしていただければと思います。



『クラスのみんなと仲よくすること』については児童アンケートでもABの割合が高くなっています。休み時間等の様子を見ていると各クラスの子どもたちが全員で遊んでいる姿があります。遊びの中でトラブルも起こりますが、どうすれば仲よくできるかみんなで考え解決するようにしています。また、たて割り活動やあったかことばの実践を通じて、支え合い協力し合う集団づくりをめざしています。ただ、前回のアンケートでも書きましたが友達の気持ちを傷つける言動や友達間のトラブルは残念ながらあります。子どもたちの様子をしっかり見つめ問題に対してすぐ対応ができるように、指導者側の共通理解を図るとともに保護者の皆様との連携を大切にしていきたいと思います。

教職員評価	重要度	実現度	ニーズ度	教職員評価	重要度	実現度	ニーズ度
宿題をきちんとすること	6.8	5.1	19.8	クラスのみんなと仲よくすること	6.8	5.1	19.8

自由記述欄より(※学校全体に関わる内容を掲載します)

- 保護者アンケートにより何か対策がなされ改善されていますか。どのように活用されていますか。
- 門が開いたままになっていることがあります。
- 読書がほとんど出来ていない状態です。挨拶はだいぶ出来るようになりましたがまだまだ進んでしている感じないです。
- 学年が上がるごとに子どもの様子も分かりにくくなっている気がします。相談しあえる関係は持っていたいものです。
- 部活動に入部出来る学年を少し下げてみてはどうでしょうか。
- 5年から携帯を持たせるのはどうかと思います。ラインのことなど子どもに携帯の怖さを教えた方がいいのではないか。
- 携帯について…家ではけじめをつけつつも外では難しい面があると思います。親子で取り組む必要がありますね。
- 夜寝る時刻が年々遅くなる気がします。部活もあったり遊びたかったりそして宿題と…することも増えてきているので、仕方ないのかもしれません、睡眠は子どもの間はとても大切だと思うので気をつけていきたいです。
- 物の大切さ、お金の大切さをどう伝え教えればいいかを困っています。

○アンケート結果に関しては、全教職員で共通理解を図り改善に向けて取組を行っています。

○門のロックについては十分に気をつけます。出入りの際に最後まできちんと閉めていただくようご協力もよろしくお願いします。

○携帯電話は大変便利な情報機器であると同時に使い方によっては大変危険な面もあります。学校では携帯電話の安心・安全な使い方、使う上での基本的なルールやマナーについて「携帯安全教室」を高学年を中心に毎年実施しています。

感想・ご意見の欄では、他にもよかった点や改善すべき点について貴重なご意見をたくさんいただきました。課題として挙がってきたことについては、共通理解を図り改善に向けた取組を進めてまいります。今後ともますますのご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。